



浦和大里小学校だより

9月号 令和6年8月28日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成



出会ってしまった

校長 中野 緑

学校に子どもたちの声が戻ってきました。校舎のあちらこちらで夏休み中に起きた出来事について、楽しそうに情報交換をしている子どもたちの姿が見られます。

夏休みの楽しみの一つは、日頃なかなか会えない人や場所と出会えることです。私は地方赴任となった息子に会いに行くことを口実に岡山・倉敷旅行に出かけたり、新潟の実家に帰省したりしました。私は旅先ではなぜか素敵なバッグや小物に出会ってしまうことが多く「そう、そう、こんなものが欲しかったんだ」と、財布を取り出すのでした。

パリオリンピック観戦も楽しみました。全力を尽くす選手の姿に胸を熱くし、試合後のインタビューでは、競技に打ち込む「楽しさ」や支えてくれた人への「感謝」を語る選手の姿に心を動かされました。

興奮が冷めやらず、オリンピック関連の様々な番組を視聴していると、本気で競技に取り組もうと思えたきっかけを語る姿にも出会えました。

「高校時代に〇〇先生と出会って・・・」

「□□選手の技を見て、わたしもできるようになりたいと・・・」

「伸び悩んだとき、△△コーチにどうしても教わりたくてメールを出し続け・・・」

多くの選手が、最初は親に勧められるなど、整えてもらった環境で競技に出会っています。しかしながら、どの選手も、「与えられたもの」から「自分で取り組むもの」に変わるきっかけとなる「出会い」があったように思いました。

私は、子どもたち一人ひとりが自分らしさを精いっぱい生かして、充実した人生を送ってほしいと願っています。それには、よい出会いを引き寄せる、心のありようにも注目したいところです。「おもしろそう!」「やってみたい!」「教えてください!」と、素直な気持ちで興味あることに向かっていく心の元気さが、新たな道につながり、大きな広がりを見せてくれることがあるものです。

さて、2学期。どのような「出会い」があるでしょう。自分の成長、友達のよさ、学問のおもしろさなど、様々なよき「出会い」が全ての子どもたちに訪れますよう、心の元気を引き出す励ましの声をかけ続けていきます。

*学校ホームページ「学校生活」では、浦和大里小の日々の様子を発信しています。どうぞご覧ください。